

エイシンバーリン



1992年3月11日生 牝 芦毛
父:Cozzene
母:Blade of Luck(母の父:Blade)
米・Hugh G. King Ⅲ生産
調教師:坂口正則(栗東) 馬主:平井豊光氏



スピード競馬の申し子

スピードという点では、歴代競走馬の中でも屈指の能力を持っていたことは間違いなし。とにかくエイシンバーリンは、速かった。

1994年10月、阪神の芝1400mで迎えたデビュー戦は2着に1秒7、大差をつける逃げ切り勝ち。勝ちタイム1分21秒6は、以後7年間更新されることのない2歳コース記録だった。阪神3歳牝馬ステークス(現:阪神ジュベナイルフィリーズ)ではコースレコードを叩き出したヤマニンパラダイスからコンマ2秒差の3着に粘り、翌春にはクイーンカップとアーリントンカップを連勝。その後は脚部不安に悩まされながらも、1996年にはキャピタルステークス1着、1997年には京都牝馬特別制覇と、飛ばしに飛ばして後続を完封する逃げ脚の速さを何度もアピールした。

極みは1997年の第2回シルクロードステークスだ。芝1200m戦はここまで2戦して2着、7着と未勝利だったが、そうとは思えぬ走り。ハナを切ったエイシンバーリンは前半3割で33秒5のハイペースで駆け、さらにスピードを上げて後半3割は33秒4で走破、ビコーベガサス、シンコウキング、フラワーパークといった短距離路線の強豪たちを4馬身突き放す。勝ちタイムは1分06秒9。わが国の競馬史上初めて1分07秒の壁を破る、驚異的な日本記録だった。

以降、エイシンバーリンは13戦して未勝利のまま引退する。けれどもこの間も、先頭ゴール以上の存在感をファンの目に焼きつけた。1997年、高松宮杯では大外18番枠から飛び出し、ホクトフィーバスと終始競り合う苦しい展開の中、勝ったシンコウキングからコンマ2秒差の2着に踏ん張った。安田記念でも直線半ばまでレースを引っ張り、スプリンターズステークスではホクトフィーバスやキョウエイマーチと先手争いを演じて前半3割32秒6の超高速ラップを計時、タイキシャトルの完勝を際立たせた。翌1998年、高松宮記念ではシンコウフォレストを最後まで苦しめての3着。夏から秋にかけては函館スプリントステークス、スワンステークス、CBC賞と短距離重賞3連続2着と奮闘する。最後の一戦となったスプリンターズステークスはシンコウフォレストと雁行して飛ばし、こんどは“絶対王者タイキシャトル敗れる”という衝撃のシーンを演出した。

あの馬がいるなら、きっとペースは落ち着かない。そうライバルたちや見る者を身構えさせ、実際に速い流れを作り出してレースをスリリングなものとする。そんなバイプレーヤーぶりを、エイシンバーリンは最後まで貫いたのである。

1997年★第2回シルクロードS(GⅢ) 持ち前のスピードで楽々と主導権を握ったエイシンバーリンが後続に4馬身差をつけ圧勝。勝ちタイムの1分06秒9は芝1200mの日本記録だった。

年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手
1994.10.16	阪神	3歳新馬	芝1400	1	R1:21.6	南井克巳
11.12	東京	京成杯3歳S(GⅡ)	芝1400	2	1:22.4	南井克巳
12. 4	阪神	阪神3歳牝馬S(GⅠ)	芝1600	3	1:34.9	南井克巳
12.24	中山	フェアリーS(GⅢ)	芝1200	2	1:09.3	南井克巳
1995. 1.29	東京	デイリー杯クイーンC(GⅢ)	芝1600	1	1:35.5	南井克巳
2.26	京都	アーリントンC(GⅢ)	芝1600	1	1:34.3	南井克巳
1996. 9.21	中山	オータムスプリントS	芝1200	7	1:10.0	柴田善臣
10.13	東京	府中牝馬S(GⅢ)	芝1800	5	1:46.5	柴田善臣
11. 2	東京	東京中日スポーツ杯根岸S(GⅢ)	ダ1200	12	1:12.3	柴田善臣
11.23	東京	キャピタルS	芝1400	1	1:21.7	角田晃一
12.15	阪神	サンケイスポーツ杯阪神牝馬特別(GⅡ)	芝1600	7	1:36.0	南井克巳
1997. 1.26	京都	京都牝馬特別(GⅢ)	芝1600	1	1:35.4	南井克巳
2.23	中山	ローレル競馬場賞中山牝馬S(GⅢ)	芝1800	11	1:50.4	南井克巳
3.16	中京	トヨタ賞中京記念(GⅢ)	芝2000	5	2:03.1	幸 英明
4.20	京都	シルクロードS(GⅢ)	芝1200	1	R1:06.9	南井克巳
5.18	中京	高松宮杯(GⅠ)	芝1200	2	1:08.2	南井克巳
6. 8	東京	安田記念(GⅠ)	芝1600	9	1:34.6	吉田 豊
9.28	阪神	セントウルS(GⅢ)	芝1400	11	1:21.6	松永幹夫
10.25	京都	スワンS(GⅡ)	芝1400	7	1:21.3	熊沢重文
11.22	中京	CBC賞(GⅡ)	芝1200	2	1:08.5	南井克巳
12.14	中山	スプリンターズS(GⅠ)	芝1200	10	1:09.5	吉田 豊
1998. 4.26	京都	シルクロードS(GⅢ)	芝1200	5	1:09.0	南井克巳
5.24	中京	高松宮記念(GⅠ)	芝1200	3	1:09.2	南井克巳
6.14	東京	安田記念(GⅠ)	芝1600	7	1:39.1	福永祐一
7.19	函館	函館スプリントS(GⅢ)	芝1200	2	1:09.3	南井克巳
10.31	京都	スワンS(GⅡ)	芝1400	2	1:21.9	南井克巳
11.28	中京	CBC賞(GⅡ)	芝1200	2	1:09.8	南井克巳
12.20	中山	スプリンターズS(GⅠ)	芝1200	10	1:09.9	熊沢重文

※レース名は当時の表記による



1994年★第46回阪神3歳牝馬S(GⅠ) 勝利を手にしたかに思えたエイシンバーリン(帽色・黒)だったが、ゴール寸前で勝ったヤマニンパラダイス(帽色・桃)らに交わされ3着に敗退。